

**三井住友海上スマイルハートクラブ・日本編物文化協会共催
「世界の子どもたちへ編み物作品を贈ろう」プロジェクト完了報告書**

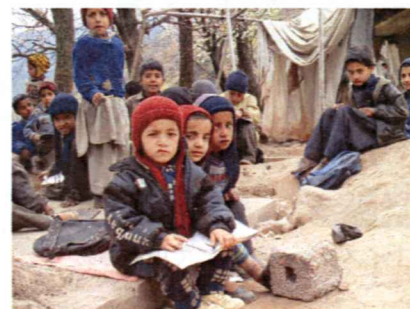
2007年11月27日
特定非営利活動法人ジェン

三井住友海上スマイルハートクラブ様と日本編物文化協会様の温かいご支援により、昨年度に引き続き、パキスタン地震被災地の子ども達へ手編み作品を配布することができました。ここに御礼申し上げると共に配布事業についてご報告いたします。

事業目的

2005年10月のパキスタン大地震により甚大な被害を受け、厳しい生活を送る被災地の子ども達に、以下の目的で手編み作品（セーター、ベスト、マフラー、帽子）の配布を行いました。

- ① 屋外で学習を続ける子どもが厳しい冬を凌げるよう支援する
- ② 震災2年後も引き続き復興への励ましのメッセージを届ける



屋外で学習を続ける被災地の子ども達→

背景

2005年10月8日に発生したマグニチュード7.6の大地震によりパキスタンでは7万人もの死者が発生しました。JENは険しい山間部にあり支援が行き届いていないカシミールのバーク郡ハベリ郡にて、2年以上にわたり教育環境改善支援を行っています。これまで、学校用テントの設置、学校再建、学校給水施設・トイレの設置、衛生教育、地震防災教育を通した心のケアの実施など、さまざまな被災者支援事業を行ってきました。

地震発生から2年がたちましたが、現地での復興は大幅に遅れています。ハベリ郡では151校の学校再建が必要とされているにも関わらず、まだJENが建設した2校しか再建されていません。このため、子ども達は未だにテントやプレハブなどの仮設教室、もしくは屋外での授業を余儀なくされています。こうした中で、厳しい環境で学習を続けている子ども達が少しでも寒さを凌げるように、セーターをはじめとする日本からの手編み作品の配布を行いました。

配布先の選定

被災した学校の中から、特にアクセスが悪く貧しい地域にある5校（生徒数計295名）を選びました。

【配布先学校詳細】

No.	学校名	生徒数	学校の状況	学校の所在場所
(1)	チャンジャル・バラ男子中学校	37名	校舎全壊 屋外で授業実施	道路から急な坂道を1km登った場所
(2)	カングラ男子小学校	60名	校舎全壊 屋外で授業実施	四駆でのみアクセスが可能な急な坂道沿い
(3)	カングラ女子小学校	36名	校舎半壊 屋外で授業実施	道路から急な坂道を1km登った場所
(4)	アコリ・デグワール男子小学校	112名	校舎全壊 屋外で授業実施	管理ライン ¹ 付近で四駆でのみアクセスが可能な場所
(5)	ナブン・デグワール男子小学校	50名	校舎全壊 屋外で授業実施	管理ライン付近で道路から離れた急高配な場所

¹管理ラインとは、パキスタン側とインド側のカシミールの実質的な分割線。パキスタン政府は、管理ライン付近への侵入を規制しているため、配布実施のために特別進入許可を取得しました。

配布までの流れ

ご寄付いただいた手編み作品は、2007年8月28日、株式会社 商船三井ロジスティクス様のご協力により日本を出航し、9月下旬にカラチ陸揚げされました。カラチに陸揚げされるまでの間に、政府から配布実施及び輸入の許可証を取得し、円滑に配布が実施されるよう調整を行いました。手編み作品がイスラマバードに到着した後、内容物がリストと合っていること、作品が傷ついていないことを確認したのち、ハベリ郡まで7時間かけて輸送しました。配布は11月6日、7日の2回に分けて実施しました。



↑イスラマバードにて中身確認



↑運べるところまでは四駆で輸送



↑その後配布先までは人力で輸送

配布の様子

11月6日：チャンジャル・バラ男子中学校、カングラ男子小学校、カングラ女子小学校

11月7日：アコリ・デグワール男子小学校、ナブン・デグワール男子小学校

カングラ男子小学校とアコリ・デグワール男子小学校以外の学校は、急斜面に位置しているため学校までトラックで乗り入れることができません。このため、子ども達に学校から近い平地まで集まってもらい、そこで配布を行いました。配布にあたり、セーターが日本編物文化協会の皆様の手作り作品であること、三井住友海上スマイルハートクラブの皆様のご支援で配布を実施していることを伝えました。そしてリストをもとに、一人ひとり名前を呼んで手編み作品を手渡ししました。

配布する作品は子どもの体のサイズに合わせて分けました。セーターは295人全員が一人1枚受け取り、セーター以外の手編み作品はできるだけ多くの子どもに1つずついきわたるよう配慮し配布しました。



配布前に子ども達に支援者の皆様について紹介



配布を待つ子ども達の列



一人ひとり手渡しで作品を配布



早速セーターを着た子ども達

配布内容詳細

学校番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	合計
配布生徒数	37名	60名	36名	112名	50名	295名
セーターL	3	4	4	17	12	40
セーターM	7	29	16	67	41	160
セーターS	24	18	10	41	0	93
セーターSS	3	10	6	7	4	30
ベスト	0	0	0	0	14	14
マフラー	34	56	32	28	15	165
帽子	34	56	32	28	2	152
合計	105	173	100	188	88	654

11月になりカシミールの山間にあるハベリ郡では寒さが厳しくなりましたが、子ども達は未だに屋外で勉強を続けています。このため、セーターをはじめ暖かい手編み作品をいただき、これを着れば少しでも温かく授業を受けることが出来る、と子ども達は大喜びでした。作品をいただいた子どもの多くの家庭は貧しく、セーターなどの防寒着を買う機会がほとんどありません。このため、暖かい手編み作品をいただき、子どもや教師だけでなく、両親からも感謝の声が届いています。

地震から2年が経ち、支援は減る一方です。そんな中で昨年度に引き続き、今年も被災地の子ども達へのご支援をいただき、誠にありがとうございます。皆様のご支援は、子ども達の体を温めるだけでなく、遠く離れた日本からの復興に向けての応援のメッセージとして、子ども達の心も温めてくれました。現地の人々に代わって厚く御礼申し上げます。

子どもからの感謝の声

ムハンマド・ワシーム君 (6才)

僕は緑色のセーターとマフラーをもらったよ。緑色はパキスタンの国旗の色と一緒に大好きなんだ。日本の人たちが僕達のために作ってくれたと思うとすごくうれしい。本当にありがとう！



会計報告

項目	予算 (円)	実施額 (円)
倉庫賃貸費	79,200	79,200
国内運搬費	52,000	52,000
事業実施費 (現地スタッフの人件費含む)	92,000	92,000
現地・事務局事業管理費 (通信費含む)	22,320	22,320
銀行送金手数料	10,000	10,000
合計	255,520	255,520